

## 令和4年度（第2回）半田市特別職報酬等審議会要旨録

開催日時	令和4年12月21日（水）	13時30分～15時00分
開催場所	半田市役所 庁議室	
会議次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 審議 4. 答申 5. 閉会	
出席委員	（会長） 中埜 喜夫 （半田商工会議所 副会頭） （委員） 船橋 正巳 （半田市区長連絡協議会 理事） 戸嶋 一将 （半田青年会議所 理事長） 杉本 裕香 （知多半島こどもまなびラボ 代表） 金澤 涼子 （半田市PTA連絡協議会 副会長） 桑山 忍 （知多中部労働組合連絡協議会） 田中 清 （連合愛知知多地域協議会） 入山 芳樹 （知識経験者） 間瀬 文夫 （知識経験者） 欠席：野々村 照義 （半田市商店街連合会 会長）※敬称略	
事務局	企画部長 山田幸、企画部人事課長 毛利悦子 人事課主査 関浩孝、人事課書記 藤原薫	
その他出席職員	答申のための出席者 市長 久世孝宏	
次第	議事要旨	
【審議】	（会長） ・答申案を事前に見ていただいたが、中身内容に関して、皆様のご意見をお聞かせ願いたい。 （委員） ・2ページの「市長、副市長、教育長及び教育長の給料の現状」で、令和3年度の審議会について記載があり、3行目の「考慮すると」は過去のことなので、「考慮して」とすると良い。 ・3ページの「審議会としての意見」で、審議会として市政に対する評価を踏まえて	

	<p>結果を出すのがルールなので、その評価に関する表現が少し薄いため補足をしたほうがよい。具体的には、下から6行目の「コロナ禍の影響が収まらない中で」を「コロナ禍の中で市長を始め特別職の真摯な市政への取組は高く評価できる。」と評価を一つ入れるとよい。実際に歴代の市長が経験したことのないコロナ禍という困難の中で、教育長も始め市政を円滑に運営するとともに、市民の不安を解消して乗り越えてきたというのは事実であり、ここは高く評価をして表現すると良い。</p> <p>・3ページの「議員報酬について」で、「市議会として広報委員会など幅広く活動している」という表現は、一般の方には分かり難いと思われるので、「市議会における活発な質疑を始め、議員活動が精力的に行われていることは高く評価できる。」とし、議員活動に対する評価も入れると良い。</p>
	<p>(会長)</p> <p>・今のご提案に対するご意見、追加の提案はありますか。</p>
	<p>(委員)</p> <p>・特にありません。</p>
	<p>(会長)</p> <p>・ありがとうございます。それでは、ご提案いただいた内容を修正して答申することといたします。</p>
<p>【答申】</p>	<p>(答申のため市長入室)</p> <p>(会長)</p> <p>・答申</p> <p>(市長)</p> <p>・据置きという結果ですが、この審議会での意見と過程も大事であり、しっかりと受け止めさせていただきまして、また来年度に向かって頑張って取り組んでいきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。本当に、ありがとうございました。</p>